

2014年度 日中韓言語・文化に関する 国際学術シンポジウム

司会進行：蔣 垂東（文教大学大学院言語文化研究科長）

開会の辞：白井 啓介（文教大学大学院附属言語文化研究所長）

発表次第：13:10～13:40 徐 載坤（韓国外国語大学校）

山崎豊子『約束の海』論 —消された兵士の復活—

13:40～14:10 邵 建国（北京外国語大学）

文明論の視点から見る戦前期の中日関係

14:10～14:40 長谷川 清（文教大学）

仏教寺院の復興と越境するネットワーク —雲南省でのフィールド調査から

14:55～15:25 安 平鎬（韓国誠信女子大学校）

「自動詞+てしまう」と「他動詞+てしまう」の使い分けについて

15:25～15:55 于 日平（北京外国語大学）

従属節の構文的機能と形態的機能

—様態修飾を表す[～Vように]節のアスペクト性に関する一考察—

15:55～16:25 鄭 相哲（韓国外国語大学校）

因果関係の「ノダ」文をめぐって

16:40～17:10 朴 敏瑛（韓国外国語大学校）

複数を表す日本語の「～たち」と韓国語の「～들[t+i]」の対照研究

17:10～17:40 宮武 利江（文教大学）、権 景愛（韓国外国語大学校）

漢語オノマトペの日韓両言語における受容と変化

閉会の辞：磯山 甚一（文教大学文学部長）

コメンテーター：馬 小兵（北京大学）、津留崎 由紀子（文教大学兼任講師）、
鈴木 健司・阿川 修三（文教大学）

日 時：平成26年 **10**月**3**日（**金**） 13:00～18:00

会 場：文教大学越谷校舎1号館3階・134教室

北越谷駅（東武スカイツリーライン・東急田園都市線・東京外口日比谷線・半蔵門線 ※直通）下車西口徒歩10分

* 駐車場がございませんので、ご来場には公共機関をご利用ください。

* = お問い合わせ = *

TEL : 048-974-8811 越谷市南荻島3337 <http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/genbun/>

共 催：文教大学文学部・文教大学大学院言語文化研究科
大学院附属言語文化研究所